

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス日本語Ⅱ		(NKT14C)
講義名 (コード)	ビジネス日本語Ⅱ A		(NKT14CA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	将来日本で仕事に就きたいと考えている学習者に向け、社内外で遭遇するビジネスの場面において、より良い人間関係を築き、スムーズに業務を行うことができるようになる
全体の内容と概要	各ビジネス場面に応じて使える日本語の習得を目指す
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	相手にいい印象を与えるための訪問の仕方が理解できるようになる	練習 1 お/ご~いただく 2 ~の上では 3 ~まではなかなか ビジネスコラム
2	会社で使う言葉、敬語の復習	・役職名 ・部署名 ・会社の呼び方 ・会社の間関係 敬語
3	めいこ、フヤ、短い会話が、つろ、平話の目 (イントネーション) が使えるようになる 1	基本的な文法を使って日本人とコミュニケーションできるU1 (1~5)
4	めいこ、フヤ、短い会話が、つろ、平話の目 (イントネーション) が使えるようになる 2	基本的な文法を使って日本人とコミュニケーションできるU1 (6~10)
5	子供、のめい、どう、ヤッ、の、長い、環境で 使って、情報をもらったり伝えたり できるようになる 1	情報をもらったり伝えたりできる U2 (1~3)
6	子供、のめい、どう、ヤッ、の、長い、環境で 使って、情報をもらったり伝えたり できるようになる 2	情報をもらったり伝えたりできる U2 (4~6)
7	子供、のめい、どう、ヤッ、の、長い、環境で 使って、情報をもらったり伝えたり できるようになる 3	情報をもらったり伝えたりできる U2 (7~9)
8	より、自然な、会話に、つな、げ、る、こ とによって、気の利いた受け答えが できるようになる 1	気の利いた受け答えができる U3 (1~4)
9	より、自然な、会話に、つな、げ、る、こ とによって、気の利いた受け答えが できるようになる 2	気の利いた受け答えができる U3 (5~8)
10	自分の気持ちや様子を表す言い方が できるようになる 1	自分の気持ちや様子を表す言い方 U4 (1~4)
11	自分の気持ちや様子を表す言い方が できるようになる 2	自分の気持ちや様子を表す言い方 U4 (5~8)
12	少し長い会話を練習して、実用的な 表現が使えるようになる 1	少し長い実用的な表現ができる U5 (1~4)
13	少し長い会話を練習して、実用的な 表現が使えるようになる 2	少し長い実用的な表現ができる U5 (5~7)
14	まとめと解説	試験
15	まとめと解説	試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本語で働く！ビジネス日本語 30時間 Shadowing 日本語を話そう初中級編
参考文献・資料等	
備考	